April 26, 2018

Hymn: 461, "Jesus Loves Me!" Scripture: Psalm 139:13-14 (Old Testament p. 980)

## **Wonderfully Made**

"For you created my inmost being;
you knit me together in my mother's womb.
I praise you because I am fearfully and wonderfully made;
your works are wonderful,
I know that full well."

When I was a high school student, I didn't like myself very much. I could do many things fairly well, but I wasn't especially good at anything. I didn't have any unique skills or talents, and I didn't know what I wanted to do in the future. Because of this, I didn't know what to say when people asked me about myself. I often told them, "I'm a very boring person." However, my classmates were different. All of them had interesting hobbies and talents. For example, some were good at sports, some drew beautiful pictures, and some could play the piano very well. They all had big plans and dreams for their future. When I saw this, I felt bad about myself. I thought my classmates were more interesting than me. I thought that there was nothing special about myself, and I wished I were a different person.

Then one day, I read today's Bible verses from Psalm 139. These verses say that God designed and created us. They say that he made each one of us wonderfully. When I read these verses, I realized something important. I realized that each person is a special creation whose traits were carefully chosen by God. There is nobody else in the world that is just like me. Nobody has my same strengths and weaknesses. Nobody has my same likes and dislikes. Nobody looks just like me, not even my twin sister. There are some things that I wish I could be better at. There are also many things that I wish I could change about my appearance, my character, and my life. But God made me the way that I am, and God doesn't make any mistakes. The Bible says in Genesis 1:31 that after God made man "God saw all that he had made and it was good." This means that God is happy with how he made us. After I read Psalm 139, I didn't feel so bad about myself anymore. I realized that I am wonderfully made and that I am special because God created me and loves me. God could have made me a genius or a great athlete. But instead, he made me who I am. I trust that he did this for a reason, and that he has a good plan for me. Remembering that God designed me gives me great joy every day.

Do you dislike yourself? It's easy to feel discouraged sometimes. When you feel bad about yourself, remember that God knew you before you were born and made you just as you are. Your personality and all of your abilities are gifts from him. He loves you very much. He loves you so much that he sent his son to earth to die for you so that you could be with him in heaven someday. So don't compare yourself to your classmates. Don't worry about what other people think about you. Remember that to God you are precious and that he loves everyone no matter what type of person they are.

賛美歌:英語賛美歌 461番「主われを愛す」

聖 書: 詩編 139 編 13 節~14 節 (旧約聖書 p.980)

2018年4月26日

お祈りしましょう!

## 驚くべきものに造り上げられている

「あなたは、わたしの内臓を造り母の胎内にわたしを組み立ててくださった。 わたしはあなたに感謝をささげる。わたしは恐ろしい力によって驚くべきものに造り上げられている。御業がどんなに驚くべきものかわたしの魂はよく知っている。」

高校生の頃、私は自分のことがあまり好きでありませんでした。ものごとはそれなりにこなすことはできましたが、何かを特別に上手にできることができませんでした。私ならではの技術も才能もありませんでしたし、自分が将来何をすべきかがわかりませんでした。そのため、周囲の人たちから質問されると、どう応えたらよいかわかりませんでした。ですから、よくこう言ったものです。「私は、面白味のないつまらない人間です」と。けれど、私のクラスメイトたちは、違っていました。彼らはみな、人に注目されるような趣味や才能を持っていました。例えば、スポーツが得意な人もいれば、美しい絵を描くのが得意な人、ピアノがとても上手な人もいました。みなが将来に対して大きな計画や夢を持っていました。そういう彼らを見ていて、私は自分自身に引け目を感じるようになりました。私のクラスメイトたちは、私よりも人から関心を持たれるような人たちでした。私は、人から注目されるような何か特別なものを持っているとは思えず、別な人間だったらいいのにと考えるようになっていました。

そのような中である日のこと、私は、今お読みした詩編139編の聖句を読んだのです。神様は私たちをそれぞれに ふさわしく組み立て、お造りになったことをこの聖句は告げます。神様は、私たちそれぞれを驚くほどに存在に造 り上げておられることを。この聖句から、とても大切なことに気付されました。それは、私たちそれぞれは、丁寧 に選ばれ、分け与えられた特質を備えた神様の作品であることに。この世界には、私とまったく同じ人間はいない のです。誰一人として私と全く同じ長所や短所を持っていることはありません。誰一人として私と同じような好き 嫌いを持っていることもありません。誰一人して私と同じ容姿を持っていることもありません。私には双子の妹が いますが、その妹とでさえ全く同じではありません。もっとこうであって欲しいと願ったことがらもありました。 例えば、できれば、私の容姿、性格、人生を変えることがでたらと願ったこともありました。けれど神様は、私を このままに造られたのですし、神様は失敗などなされないお方です。創世記1章31節には、神様は人間をお造り になった後、「見よ、それは極めて良かった。」と記されています。これは、私たちの創造を喜んでおられることを 意味します。この詩編139編を読んだ後、私は自分のことにあまり引け目を感じなくなりました。私は驚くべき ものに造り上げらており、私が特別な存在であり、神様がこの私をお造りになり、愛して下さることを実感したか らです。神様は、そうしようと思えば私を天才にも偉大なアスリートにもお造りになることができたのです。けれ どそうではなく、神様は、あるがままのこの私をお造りになられたのです。私は、神様が何か特別な理由から、私 に対してすばらしい計画をお持ちであることを信じています。神様がお望みどおりに私をお造りになったと思うと、 毎日を生かされていることがとてもありがたいことに感じられます。

あなたは自分が嫌いですか?私たちは、時々、すぐに落ち込ことがあります。自分自身に自信が持てない時、神様はあなたが生まれる前からあなたを知っておられて、あなたをあなたとしてお造りになられたことを忘れないで下さい。あなたの個性、あなたの能力の全てが、神様の特別な贈り物なのですから。神様は、あなたを愛しておられます。愛しておられるからこそ、ご自分の独り子を死におわたしになるため、この世に送られたのです。そのことにより、いつの日か、私たちが天の国に神様と共にいられるようにして下さったのです。クラスメイトたちと比べないで下さい。人があなたをどう見ようとも心を悩ませないでほしいのです。神様の目に、あなたは貴く、値高い存在であり、あなたがどんな人であっても神様は、そのままのあなたを愛して下さることを忘れないで下さい。